



平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子	平成27年7月30日	13:20	開始
2回戦	島津アリーナ	D	

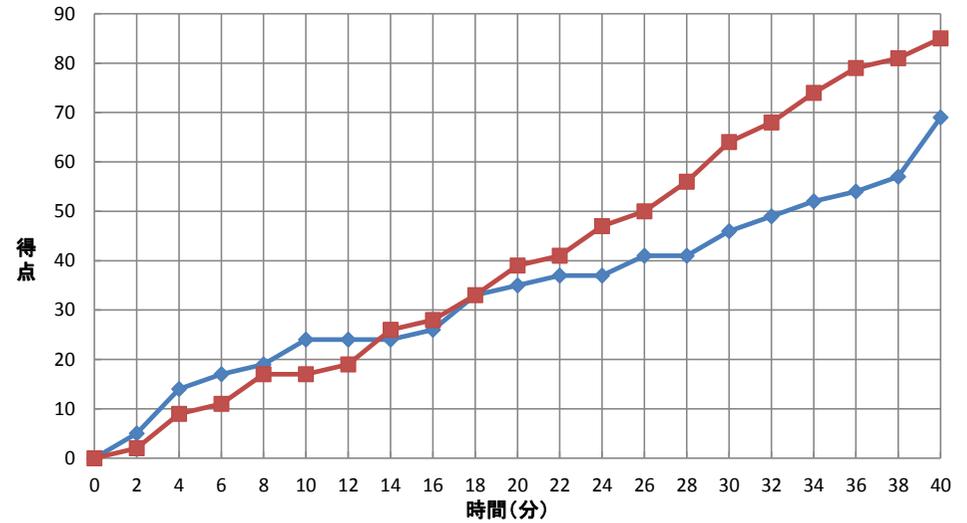
県立城東	69	<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>17</td></tr> <tr><td>11</td><td>2nd</td><td>22</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>25</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>21</td></tr> </table>	24	1st	17	11	2nd	22	11	3rd	25	23	4th	21	85	◎	東山
24	1st	17															
11	2nd	22															
11	3rd	25															
23	4th	21															
(徳島県)					(京都府)												

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	西山 修人	17	1	5	4	0	* 4	垣崎 真吾	12	0	6	0	0
* 5	津田 晟多郎	25	3	7	2	4	5	田川 尚揮	2	0	1	0	1
* 6	高田 淳貴	6	0	3	0	1	6	中村 瞭太	4	0	2	0	0
* 7	伊丹 孝典	7	0	3	1	3	* 7	中村 謙太	4	0	2	0	2
* 8	中山 満樹	12	2	3	0	1	8	古川 拓磨	0	0	0	0	0
9	鴻野 海	-	-	-	-	-	* 9	カロンジ カボンゴ バトリック	17	0	8	1	3
10	東條 太朗	-	-	-	-	-	10	松本 峻典	0	0	0	0	3
11	森吉 陽平	0	0	0	0	0	11	山内 佑真	0	0	0	0	0
12	平島 陽瑠	-	-	-	-	-	* 12	岡田 侑大	19	1	8	0	2
13	萩原 奨太	2	0	1	0	0	* 13	藤澤 尚之	21	4	4	1	1
14	岡 知樹	-	-	-	-	-	14	甲谷 勇平	6	0	3	0	0
15	東谷 颯大	-	-	-	-	-	15	堀田 健人	0	0	0	0	0
コーチ	泉 直哉					0	コーチ	大澤 徹也					0
Aコーチ	高見 委三						Aコーチ	田中 幸信					
合計		69	6	22	7	9	合計		85	5	34	2	12

主審: 伊橋 隆浩

副審: 大澤 尚樹

得点経過



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	13:27	28:28	35:29			
TeamB						

〔戦評〕

本大会2年振り19回目の出場となる徳島代表の城東と、地元京都府予選で見事優勝し、48年振り5回目の出場となる東山の対戦。

第1P序盤、城東はハーフコート2-3ゾーンディフェンスでゲーム開始。東山は、速いパス回しで#4、7のジャンプシュート、#9のバスケットカウントとバランスよく得点をとれるのに対し、城東は2対2のスクリーンを起点として、#5の連続3P、#4の1対1、3Pで応戦。ディフェンスではしっかり中を固め、東山の#9に好みにプレイさせないことで流れを引き寄せファウルを誘う。残り1分、東山#9のファウルが嵩み、交代。第1Pを24対17と城東リード終える。

第2P、東山#9はベンチスタート。城東がディフェンスをハーフマンツーマンにチェンジすると、東山は#4の連続得点、#12の1対1により徐々に点差を縮める。残り6分、#12の3Pで城東たまたまタイムアウト。流れを断ち切ろうとするが、マッチアップミスにより、相手に得点を与え、35対39と東山が逆転し、第2Pを終える。

第3P、東山#9が開始早々バスケットカウントを決めると、さらに速攻からゴール下で得点を取り、相手のファウルを誘う。さらに東山#13の巧みなパスワークと3Pなどの活躍により、一気に点差を広げる。対する城東は積極的にシュートを放つも単発で終わり、苦しい展開となる。残り1分、東山の連続速攻が決まり、城東がタイムアウトをとるが流れは変わらず点差が開く。終了間際に城東#4のバスケットカウントが決まるが、46対64と東山が18点リードで第3Pを終える。

第4P、東山のペースは変わらない。城東は、アウトサイドシュートを放つもリングに嫌われ、なかなか点差を縮められない。残り4分、城東タイムアウト。ディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、勝負にでる。しかし東山は、落ち着いてボール運び、確実に得点に繋げ、69対85で勝利した。終わってみれば東山が全員出場する余裕を見せ勝利したが、最後まで諦めず戦い続けた城東の選手たちの健闘を称えたい。

戦評: 稲田 葉

記録: 南陽高校